

2020年7月7日

関西学生ハンドボール連盟 加盟校 各位

関西学生ハンドボール連盟
理事長 中川 昌幸

2020年度関西学生ハンドボール連盟秋季リーグ戦の中止について

謹啓

世界のスポーツ界に先駆けてドイツプロサッカーリーグ・ブンデスリーガが5月16日に再開しましたが、その初日の6試合で8人の負傷者が発生しました。その中で特に問題となったのが、試合前のアップ中に負傷者が出たことであり、コンディショニング不足を大いに露呈したとして話題となりました。ブンデスリーガの中断期間（3/13～5/15）は約8週間で、その間はホームオフィス対応となり、個別メニューが組まれましたが負傷者が出ており、中断から再開までに起こった負傷のうち62%が筋肉系と報告されています。

全日本学生ハンドボール連盟が5月21日に公開した「活動に向けたガイドライン」では、試合に出るためには6～8週間程度のトレーニングが必要とされています。また、関西学連トレーナー部が作成し、6月7日に関西学連加盟大学に通知した「練習再開のガイドライン」では、クラブ活動再開から7週目を目途に全体練習を開始することが望ましいとされています。いずれも選手たちのことを思い、試合を早くさせてはあげたいが、それよりも選手の怪我を防ぐために何をすべきなのかということに主眼においた提案となっています。

関西学連加盟大学の中には、クラブ活動再開の目処が立っていないという大学もあります。また、ディトレーニング期間が3ヶ月を超える大学が加盟全46大学中28大学で60.9%となっており、中にはその期間が6ヶ月という大学も見受けられます。これらの大学がリーグ戦開始となる9月までに試合を行うだけの準備を整えることは不可能に近いと思われます。

仮にリーグ戦を開催し、9節（男女1部）の試合期間を確保するとなれば9月5日から開始し、土日連続試合開催を4週連続で実施しないと消化できません。選手の怪我のリスクなどを考慮すると、リーグ戦開催は望ましくないと考えられます。これらを総合的に判断して、理事会で2020年度秋季リーグ戦を中止とすることを決定いたしました。

ただし、11月に開催予定の全日本学生選手権大会（インカレ）は、8月末をメドに開催の可否が決定する予定です。関西学連として出場チーム（男子5校・女子9校※前年度出場実績から西日本4学連理事長会議において決定）を決定する必要があります。つきましては9月下旬から10月初旬にかけてインカレ出場決定戦を行うこととしました。詳細日程および開催方法につきましては後日、当該校へ連絡いたします。

また、このままでは4年生は一度も公式戦を経験しないまま卒業してしまいます。それは本当に残念なことです。そのような現状を鑑み、12月に4年生が出場できる公式戦（試合形式未定）の開催を予定しています。こちらにつきましても、関係機関で調整のうえ、具体案ができましたらお知らせします。

ひと頃より落ち着いたとはいえ、まだまだ以前のような状態に戻れていません。加盟校のみなさまにつきましてもくれぐれもご自愛くださいますよう衷心よりお祈り申し上げます。

謹白